

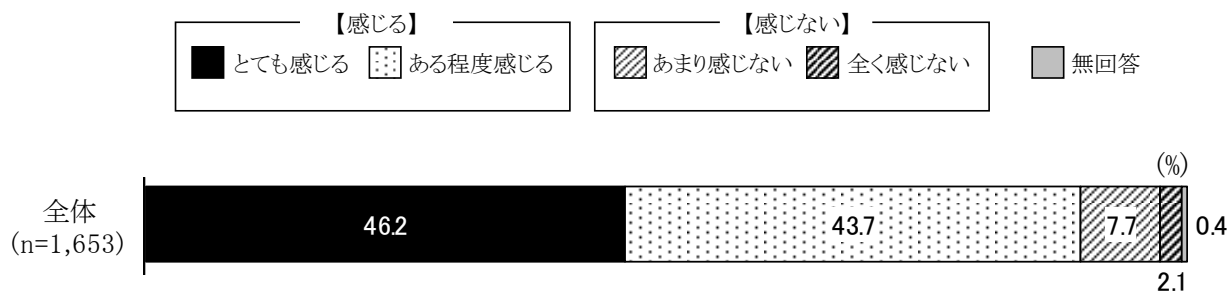
2.5 地球温暖化対策について

(1) 地球温暖化の進行に対する危機感

問11. 昨今の地球温暖化の進行について、あなたは危機感を感じていますか。

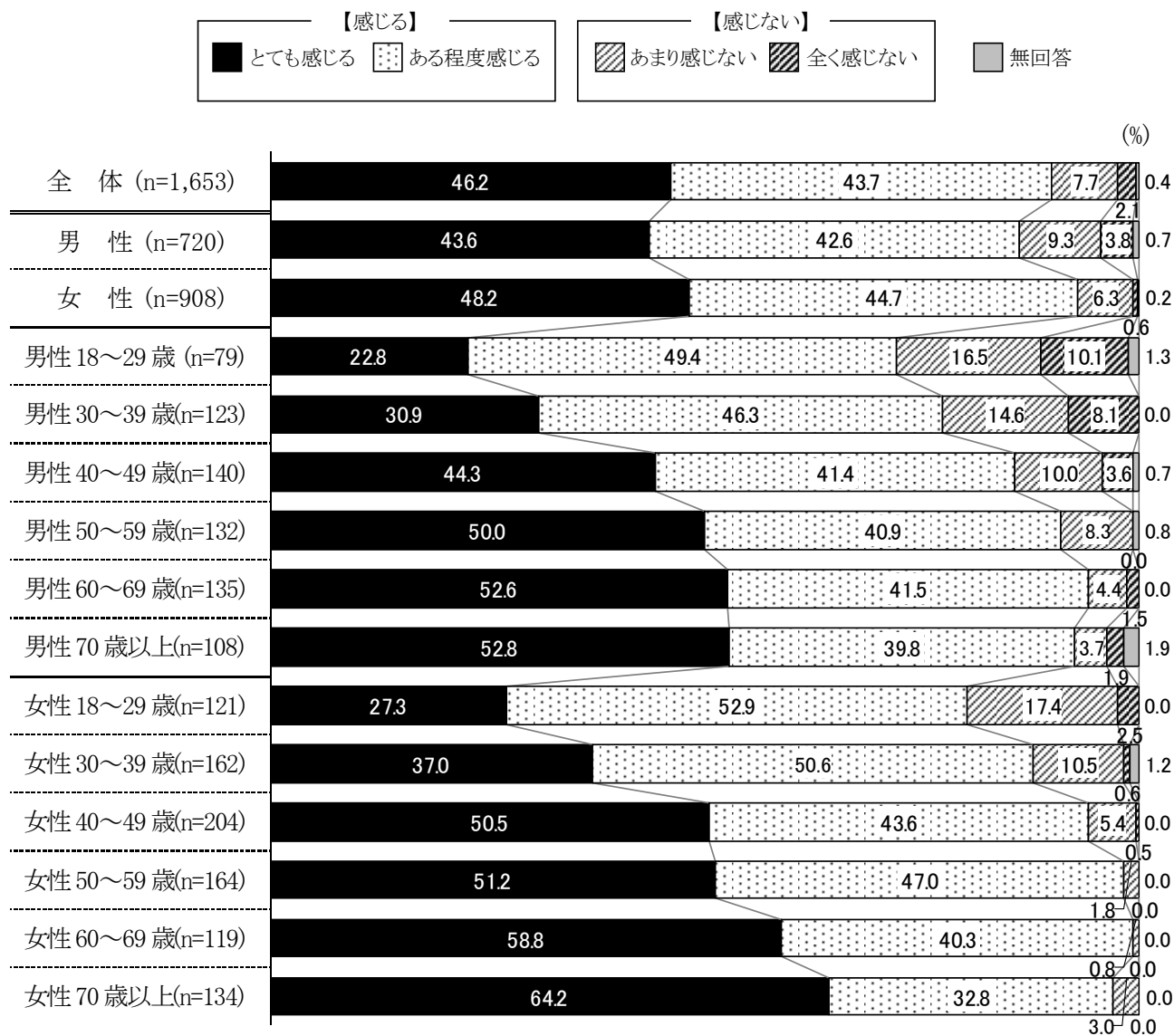
「とても感じる」(46.2%)と「ある程度感じる」(43.7%)を合計した【感じる】は89.8%であり、ほぼ9割の人が地球温暖化の進行について危機感を感じていると回答している。

【図表 103】地球温暖化の進行に対する危機感



性／年齢別に見ると、「とても感じる」はいずれの年齢層においても男性よりも女性の方が多く、年齢が高くなるほど多くなっている。また、「とても感じる」と「ある程度感じる」を合計した【感じる】は、男性の50歳以上、女性の40歳代以上では9割を超えている。

【図表 104】地球温暖化の進行に対する危機感（性／年齢別）

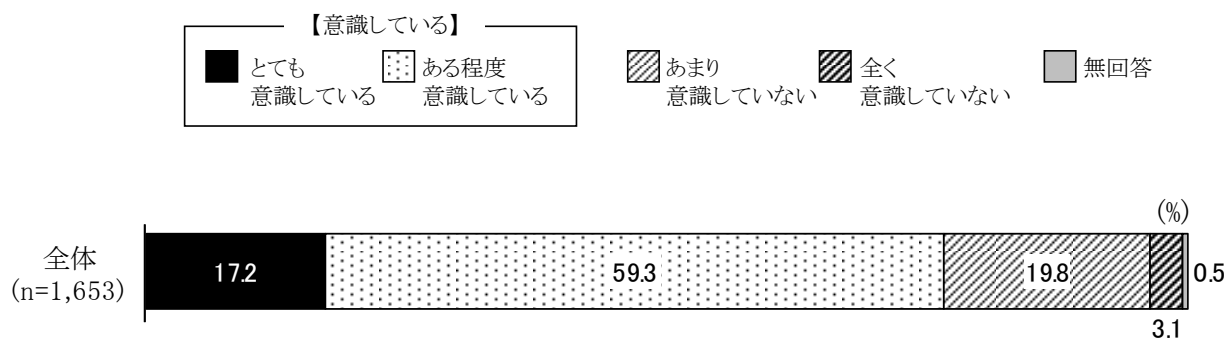


(2) 地球温暖化対策を意識している程度

問 12. 日常生活の中で、あなたは地球温暖化対策について意識していますか。

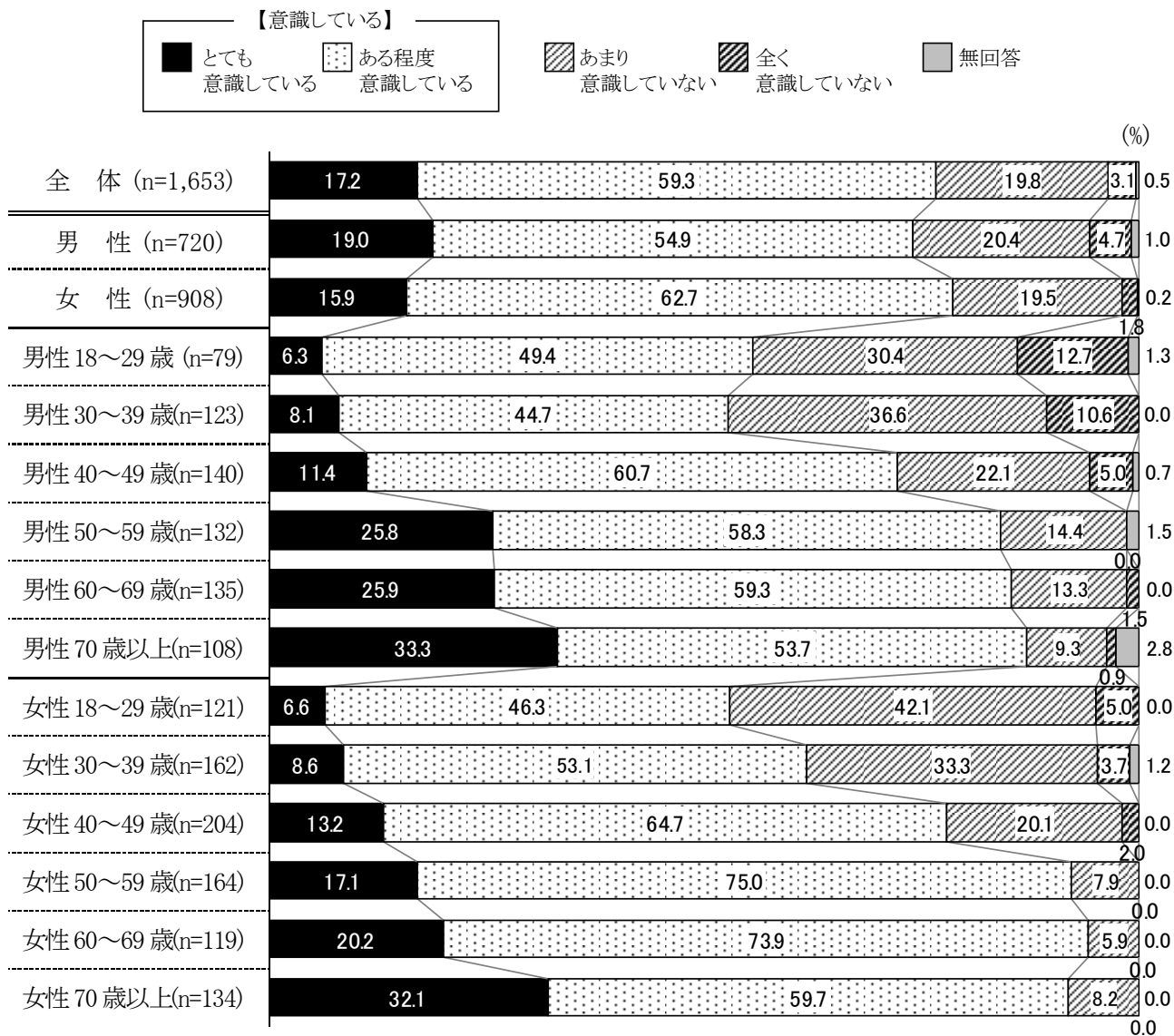
「とても意識している」(17.2%)と「ある程度意識している」(59.3%)を合計した【意識している】は76.5%であった。

【図表 105】地球温暖化対策を意識している程度



性／年齢別に見ると、「とても意識している」は男女ともに年齢が高くなるほど多くなっている。また、「とても意識している」と「ある程度意識している」を合計した【意識している】は、男性の50歳代以上では8割を超え、女性の50歳代以上では9割を超えている。

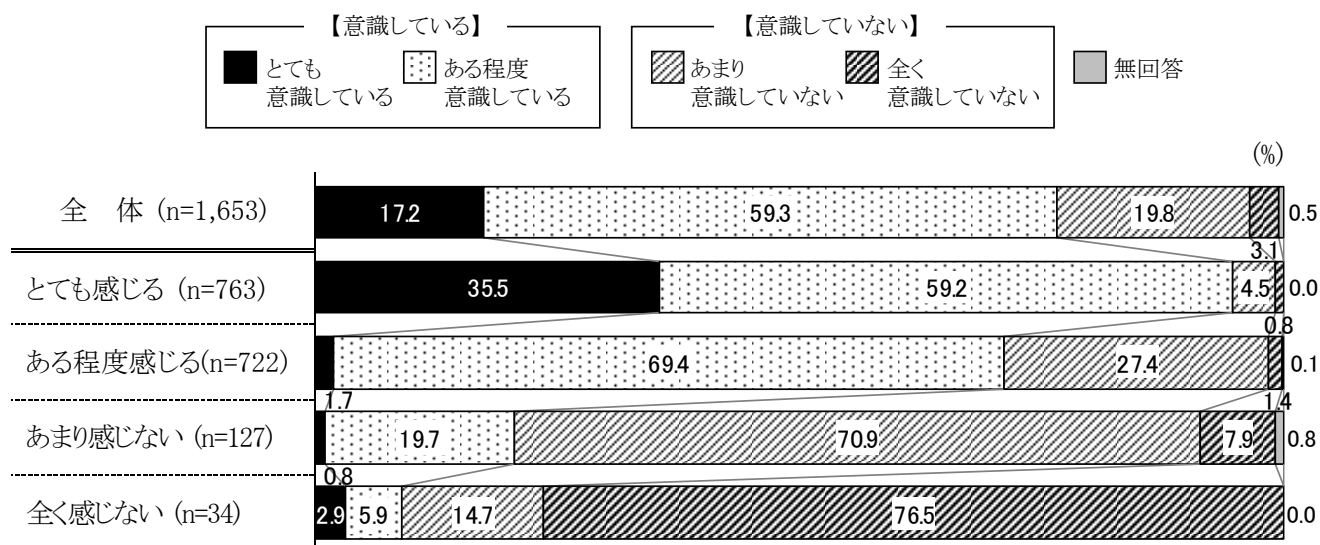
【図表 106】地球温暖化対策を意識している程度（性／年齢別）



問11の「地球温暖化の進行に対する危機感」の回答別に見ると、危機感を「とても感じる」と回答した人では、地球温暖化対策を「とても意識している」が35.5%と特に多く、「とても意識している」と「ある程度意識している」を合計した【意識している】は94.8%となっている。

一方で、危機感を「あまり感じない」と回答した人では、「あまり意識していない」と「全く意識していない」を合計した【意識していない】が78.7%、「全く感じない」と回答した人では【意識していない】が91.2%となっている。

【図表 107】地球温暖化対策を意識している程度
(「地球温暖化の進行に対する危機感」の回答別)



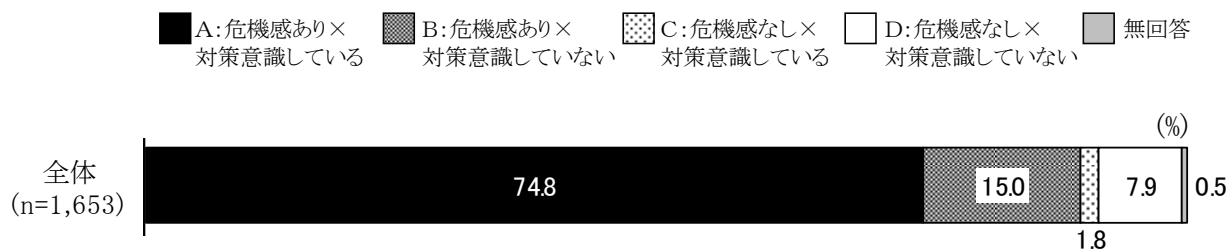
問11「地球温暖化の進行に対する危機感」と問12「地球温暖化対策を意識している程度」の回答状況から、対象者を以下の4つのグループに分類した。

- A 「危機感をとても感じる／ある程度感じる」かつ「対策をとても意識している／ある程度意識している」
- B 「危機感をとても感じる／ある程度感じる」かつ「対策をあまり意識していない／全く意識していない」
- C 「危機感をあまり感じない／全く感じない」かつ「対策をとても意識している／ある程度意識している」
- D 「危機感をあまり感じない／全く感じない」かつ「対策をあまり意識していない／全く意識していない」

全体 (n=1,653) のうち、Aの地球温暖化の進行に危機感を感じ、かつ地球温暖化対策を意識している、地球温暖化に対する意識が非常に高いグループが 74.8%と最も多く、次いで危機感を感じているが地球温暖化対策は意識していないグループが 15.0%で2番目に多い。

		問11 地球温暖化の進行に対する危機感			
		とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	全く感じない
問12 地球温暖化対策を 意識している程度	とても意識している	A		C	
	ある程度意識している				
	あまり意識していない	B		D	
	全く意識していない				

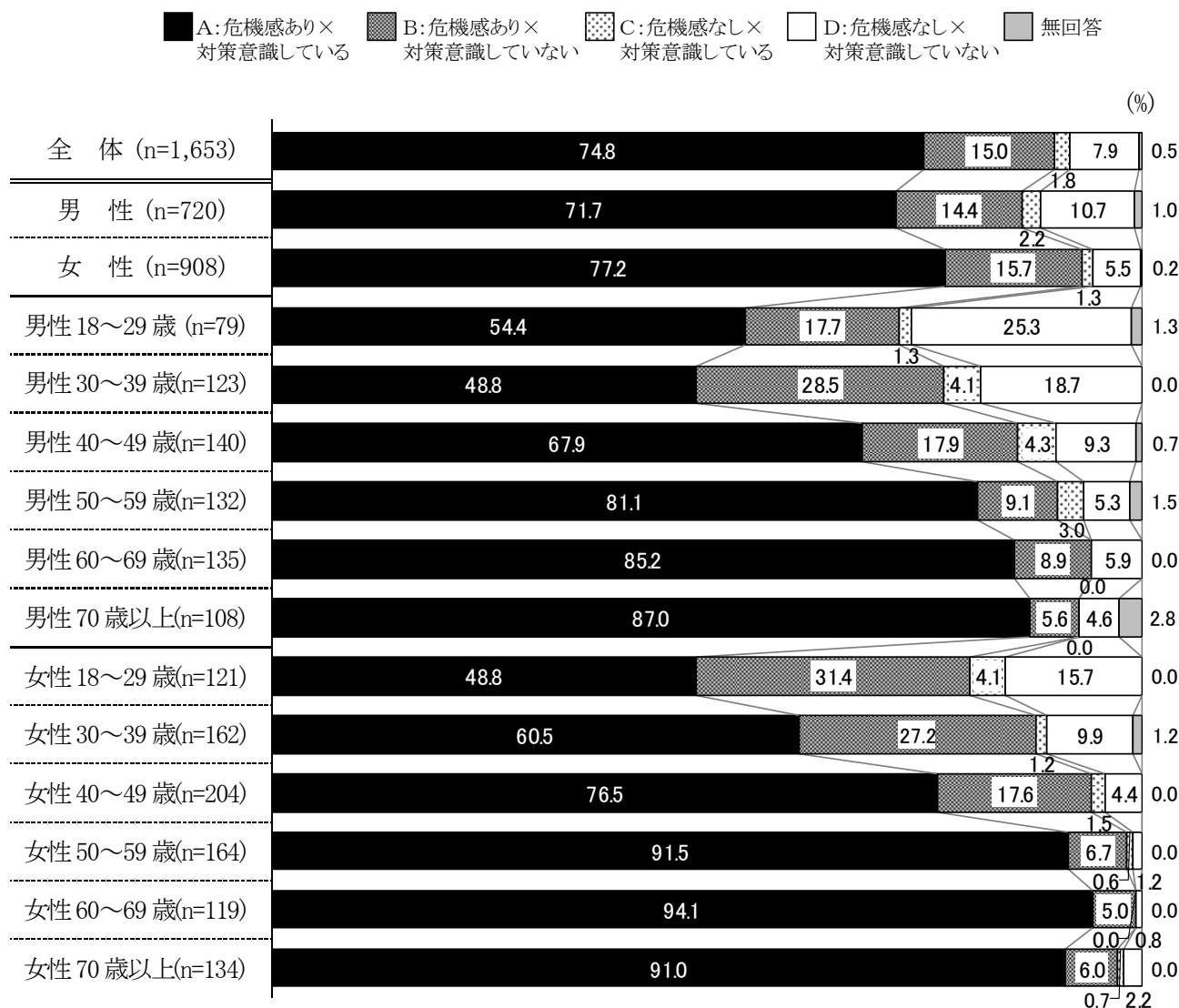
【図表 108】地球温暖化に対する意識



※「無回答」：問11と問12、いずれかまたは両方無回答。

性／年齢別に見ると、Aの地球温暖化の進行に危機感を感じ、かつ地球温暖化対策を意識している、地球温暖化に対する意識が非常に高いグループは男女ともに概ね年齢が高くなるほど多くなっており、特に女性の50歳代以上では9割を超えている。

【図表 109】地球温暖化に対する意識（性／年齢別）

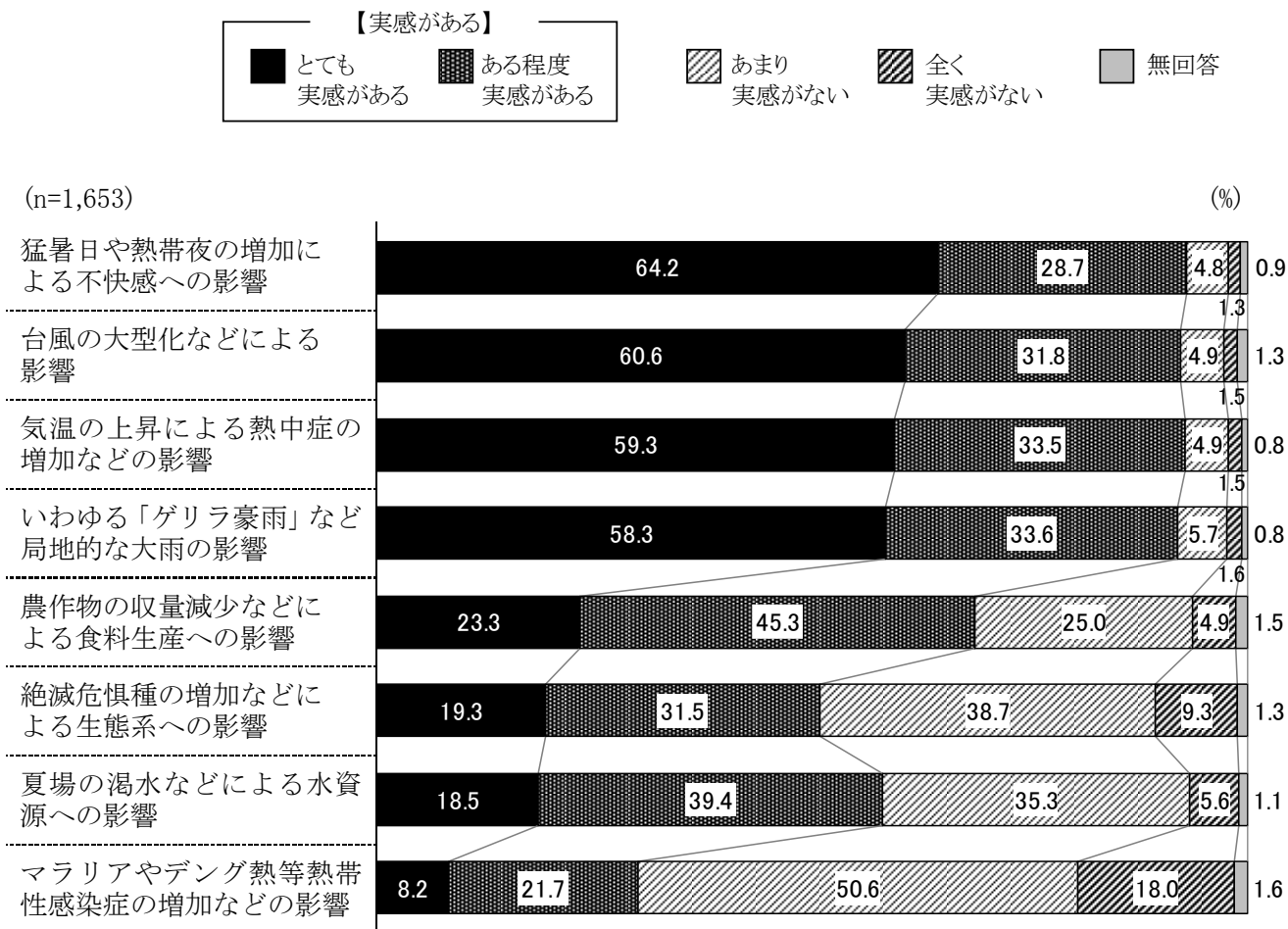


(3) 地球温暖化による気候変動の影響についての実感

問 13. 地球温暖化による気候変動の影響（猛暑日や局地的大雨の増加など）について、あなたはどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。

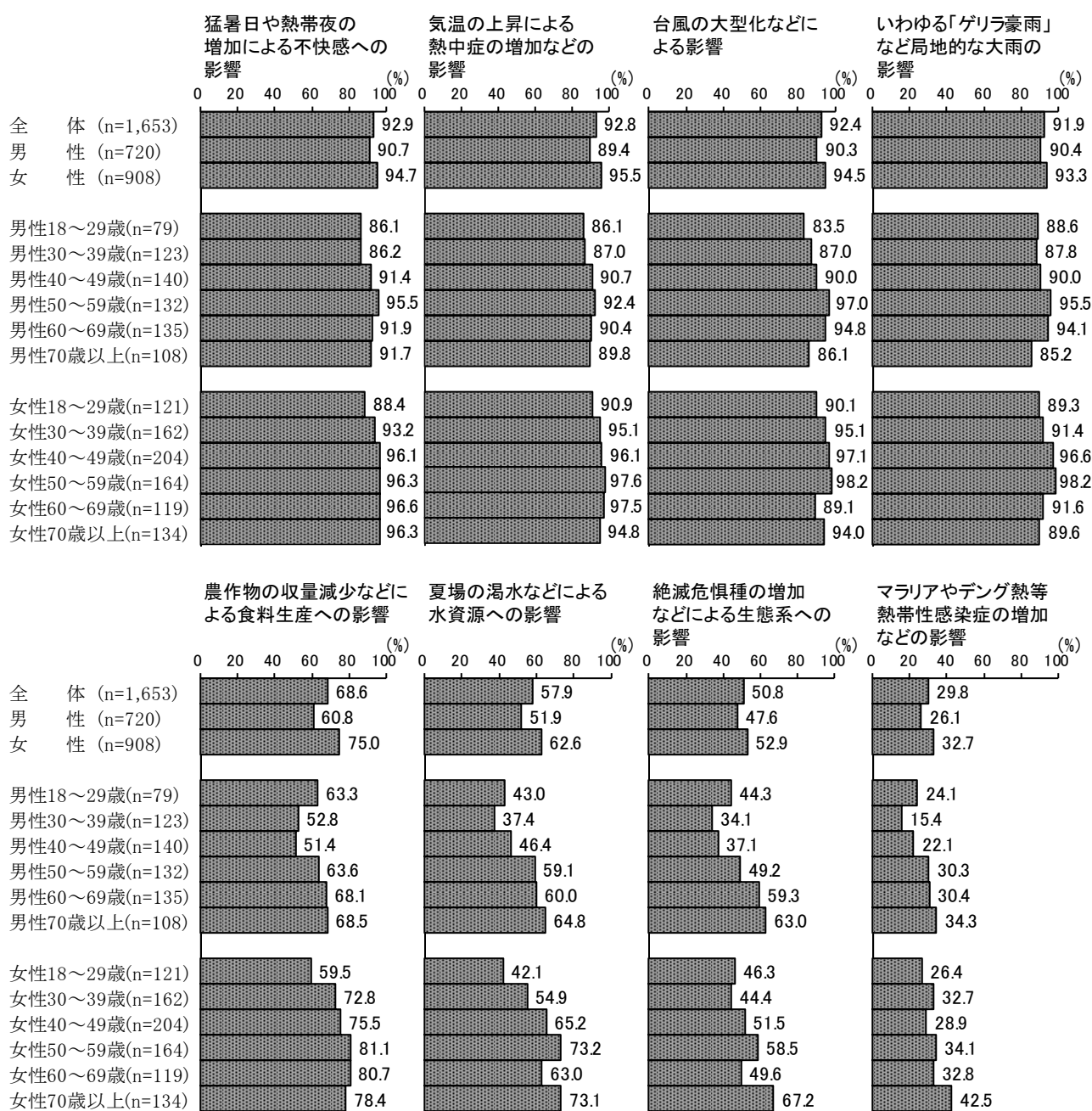
「猛暑日や熱帯夜の増加による不快感への影響」、「台風の大型化などによる影響」、「気温の上昇による熱中症の増加などの影響」、「いわゆる「ゲリラ豪雨」など局地的な大雨の影響」の4項目では、「とても実感がある」と「ある程度実感がある」を合計した【実感がある】が9割を超えている。

【図表 110】地球温暖化による気候変動の影響についての実感



性／年齢別に見ると、「とても実感がある」と「ある程度実感がある」を合計した【実感がある】は、「猛暑日や熱帯夜の増加による不快感への影響」、「気温の上昇による熱中症の増加などの影響」、「台風の大型化などによる影響」、「いわゆる「ゲリラ豪雨」など局地的な大雨の影響」の4項目では性別や年齢にかかわらず8割以上と多くなっている。「農作物の収量減少などによる食料生産への影響」、「夏場の渇水などによる水資源への影響」、「絶滅危惧種の増加などによる生態系への影響」、「マラリアやデング熱等熱帯性感染症の増加などの影響」の4項目では30歳代以下の若年層よりも、60歳代以上の年齢層のほうが【実感がある】が多い傾向が見られる。

【図表 111】地球温暖化による気候変動の影響についての実感（【実感がある】回答者）
（性／年齢別）



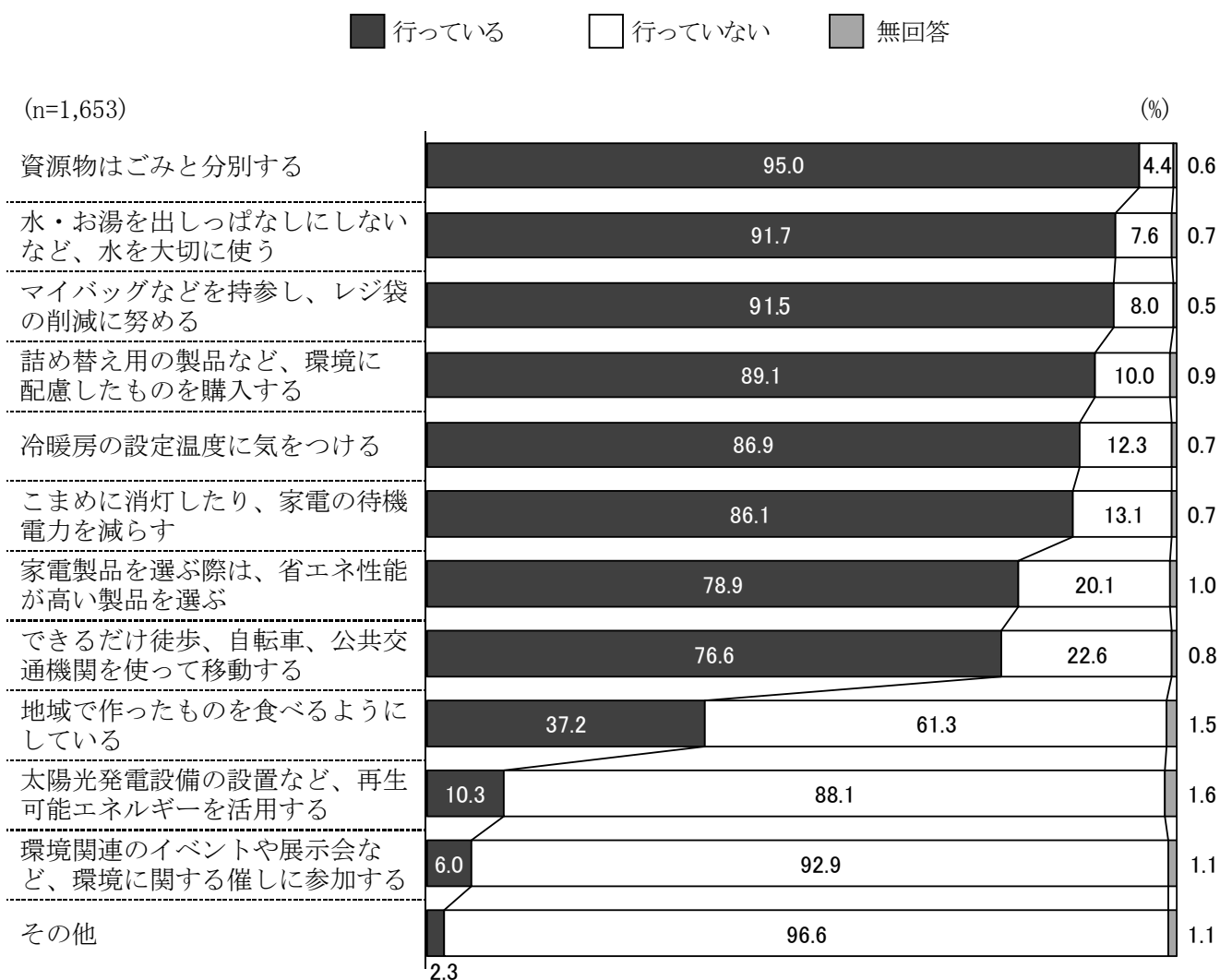
(4) 行っている「緩和策」

問 14. 個人でできる「緩和策」※として、あなたは次の項目について行っていますか。それぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。

※地球温暖化をもたらす温室効果ガスを削減するための対策（太陽光発電等再生可能エネルギーの利用、省エネなど）を「緩和策」といいます。

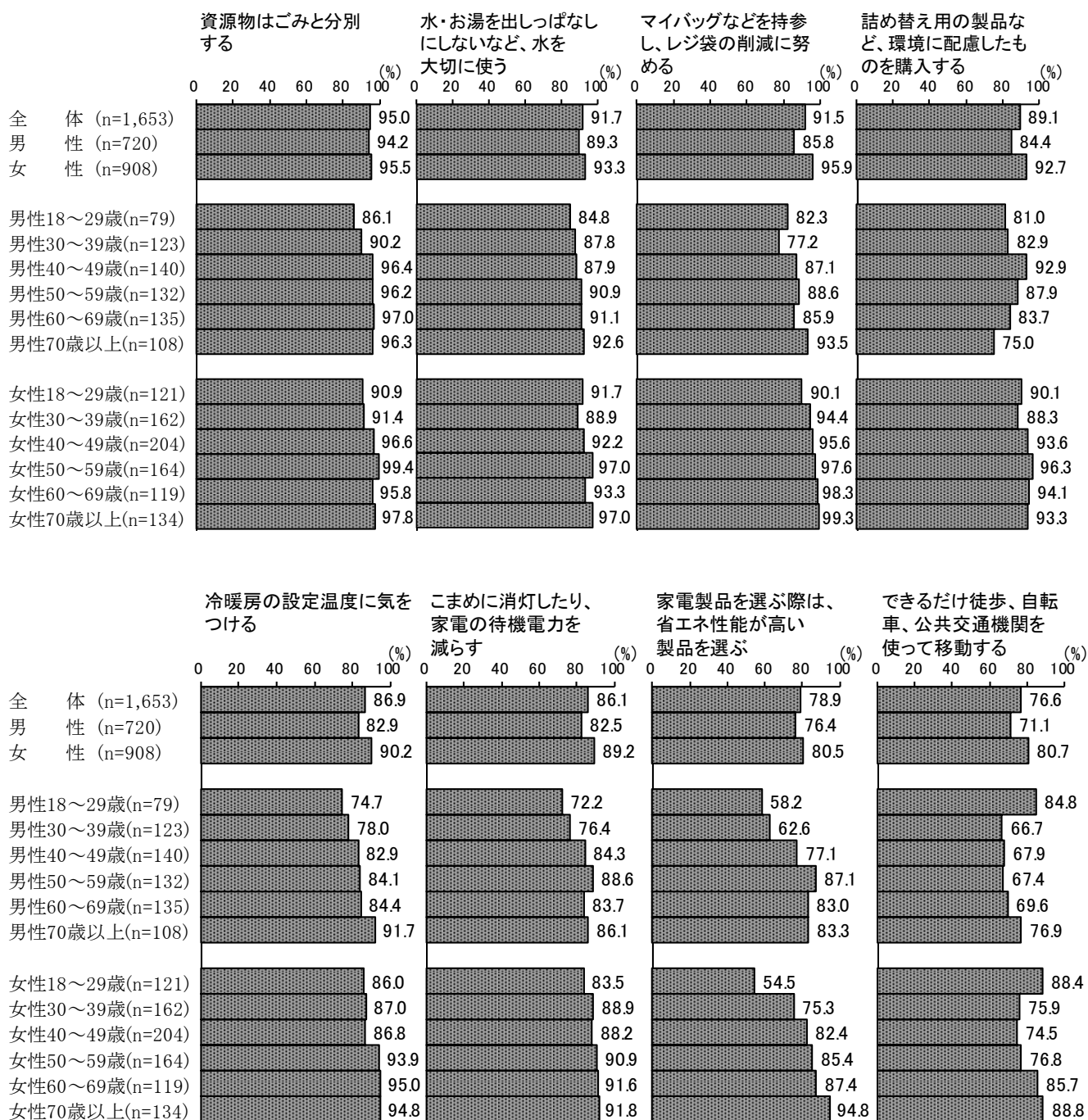
「行っている」は「資源物のごみと分別する」(95.0%)が最も多く、次いで「水・お湯を出しっぱなしにしないなど、水を大切に使う」(91.7%)、「マイバッグなどを持参し、レジ袋の削減に努める」(91.5%)と続いている。一方で、「地域で作ったものを食べるようにしている」、「太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーを活用する」、「環境関連のイベントや展示会など、環境に関する催しに参加する」の3項目では、「行っている」が4割を下回っている。

【図表 112】 行っている「緩和策」



性／年齢別に見ると、「資源物のごみと分別する」、「水・お湯を出しっぱなしにしないなど、水を大切に使う」、「マイバッグなどを持参し、レジ袋の削減に努める」の3項目については、年齢にかかわらずおおよそ8割台から9割台の人が「行っている」と回答しているが、「冷暖房の設定温度に気をつける」、「こまめに消灯したり、家電の待機電力を減らす」、「家電製品を選ぶ際は、省エネ性能が高い製品を選ぶ」の3項目については概ね年齢が高くなるほど「行っている」が多くなる傾向が見られる。一方で、「できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動する」においては、男女ともに18～29歳で最も多い。

【図表 113】行っている「緩和策」（「行っている」回答者）《上位8項目》
（性／年齢別）



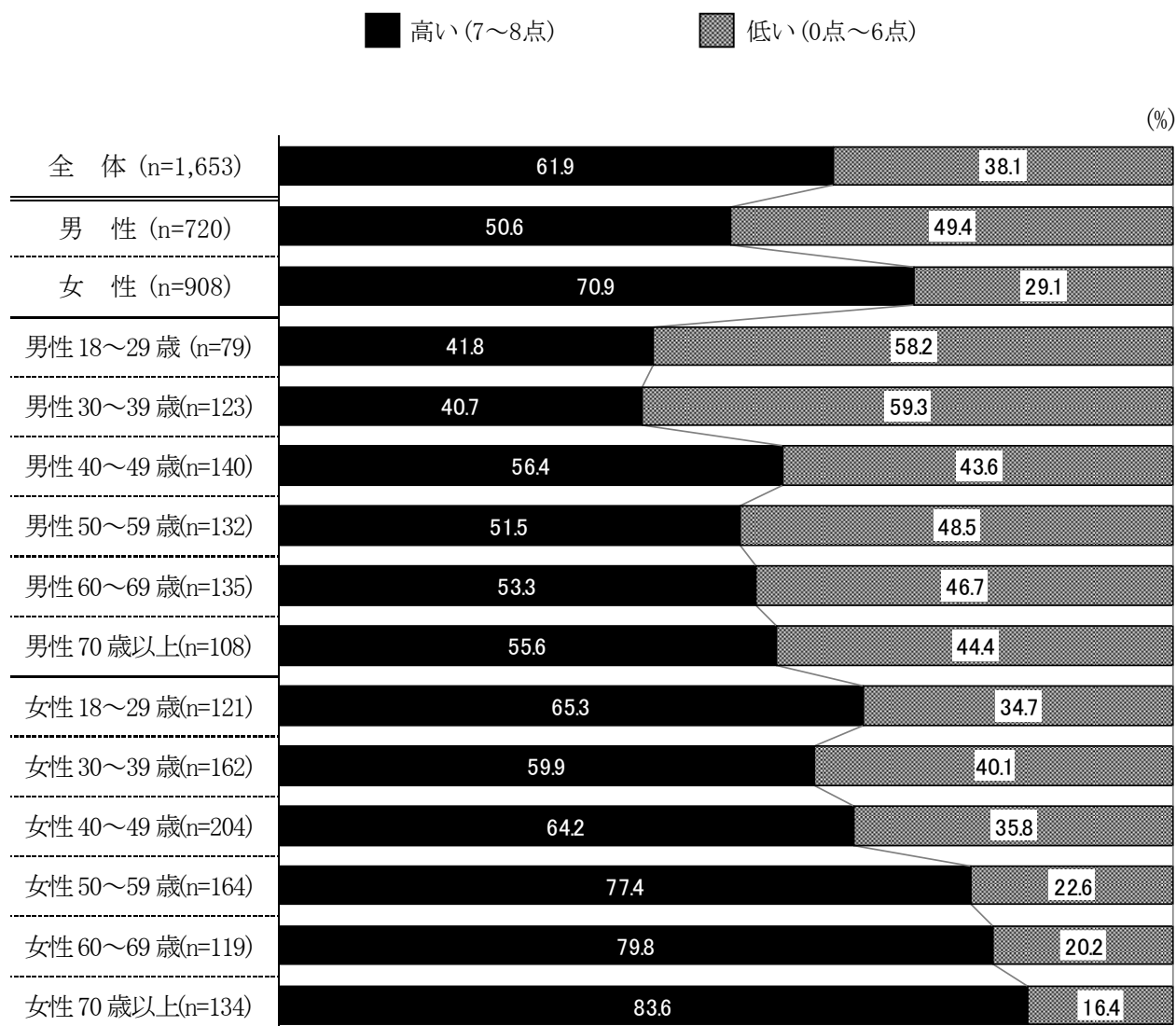
問14の12項目のうち、「家電製品を選ぶ際は、省エネ性能が高い製品を選ぶ」「太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーを活用する」「環境関連のイベントや展示会など、環境に関する催しに参加する」「その他」を除いた日常生活で行う緩和策8項目において「行っている」と回答した項目の数を『緩和策ポイント』として算出した。

【図表 114】緩和策ポイント（性／年齢別）

	(%)									平均 (点)
	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	
全体(n=1,653)	24.0	38.0	20.9	9.7	3.8	1.7	1.0	0.2	0.8	6.54
男性(n=720)	17.1	33.5	25.7	13.2	4.7	2.5	1.5	0.3	1.5	6.21
女性(n=908)	29.2	41.7	17.2	6.9	3.0	1.1	0.6	0.1	0.2	6.80
男性18～29歳(n=79)	10.1	31.6	22.8	20.3	7.6	5.1	0.0	0.0	2.5	5.86
男性30～39歳(n=123)	9.8	30.9	27.6	13.8	8.1	4.1	3.3	0.8	1.6	5.81
男性40～49歳(n=140)	17.1	39.3	25.7	7.9	3.6	2.1	2.9	0.0	1.4	6.32
男性50～59歳(n=132)	17.4	34.1	25.0	16.7	3.8	2.3	0.0	0.8	0.0	6.34
男性60～69歳(n=135)	20.7	32.6	24.4	13.3	4.4	0.7	1.5	0.0	2.2	6.30
男性70歳以上(n=108)	24.1	31.5	28.7	10.2	1.9	1.9	0.9	0.0	0.9	6.51
女性18～29歳(n=121)	11.6	53.7	18.2	5.8	5.8	2.5	2.5	0.0	0.0	6.42
女性30～39歳(n=162)	23.5	36.4	20.4	12.3	4.9	1.2	0.6	0.0	0.6	6.51
女性40～49歳(n=204)	26.0	38.2	22.1	8.8	2.9	2.0	0.0	0.0	0.0	6.70
女性50～59歳(n=164)	32.3	45.1	17.1	3.7	1.2	0.0	0.6	0.0	0.0	7.01
女性60～69歳(n=119)	35.3	44.5	11.8	3.4	3.4	0.0	0.0	0.8	0.8	6.96
女性70歳以上(n=134)	47.0	36.6	9.7	6.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	7.22

緩和策ポイントの全体の平均 6.54 点より高い 7～8 点と低い 0～6 点の 2 層に分け、性／年齢別に見ると、【高い】は男性より女性の方が多く、概ね年齢が高くなるほど多くなる傾向があり、特に女性の 50 歳代以上では 7 割を超え、多くなっている。

【図表 115】 緩和策ポイント [高得点・低得点] (性／年齢別)



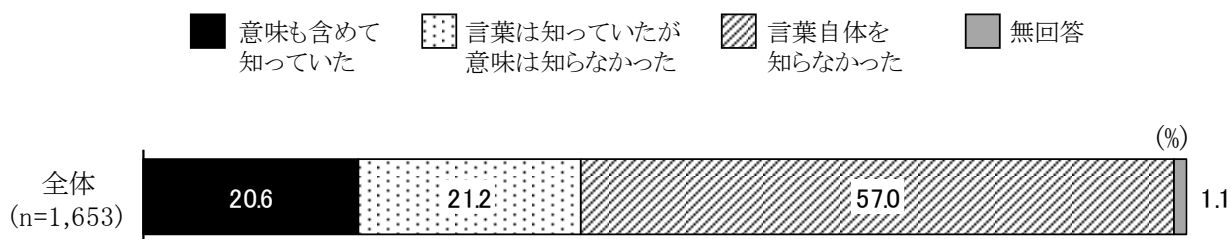
(5) 気候変動の影響に対する「適応策」の認知状況

問 15. あなたは、気候変動の影響に対する「適応策」※について知っていましたか。

※「緩和策」に対して、既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を軽減するための対策（災害時の備え、治水対策、熱中症対策など）のことを「適応策」といいます。

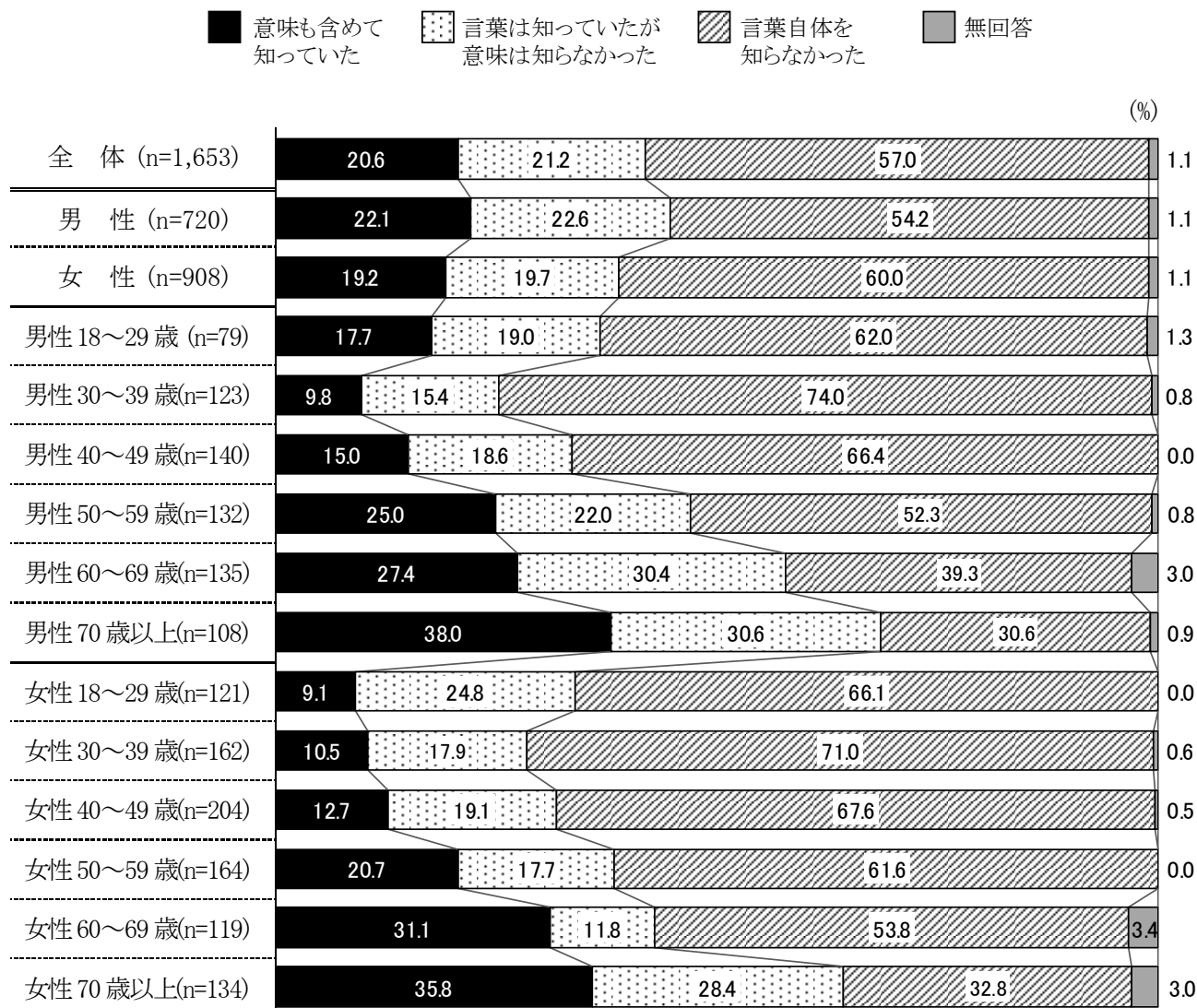
「言葉自体を知らなかった」（57.0%）が最も多い。一方で、「意味も含めて知っていた」は2割程度であった。

【図表 116】 気候変動の影響に対する「適応策」の認知状況



性／年齢別に見ると、「意味を含めて知っていた」は女性よりも男性の方が多く、また、男女ともに年齢が高くなるほど多くなっている。

【図表 117】気候変動の影響に対する「適応策」の認知状況（性／年齢別）

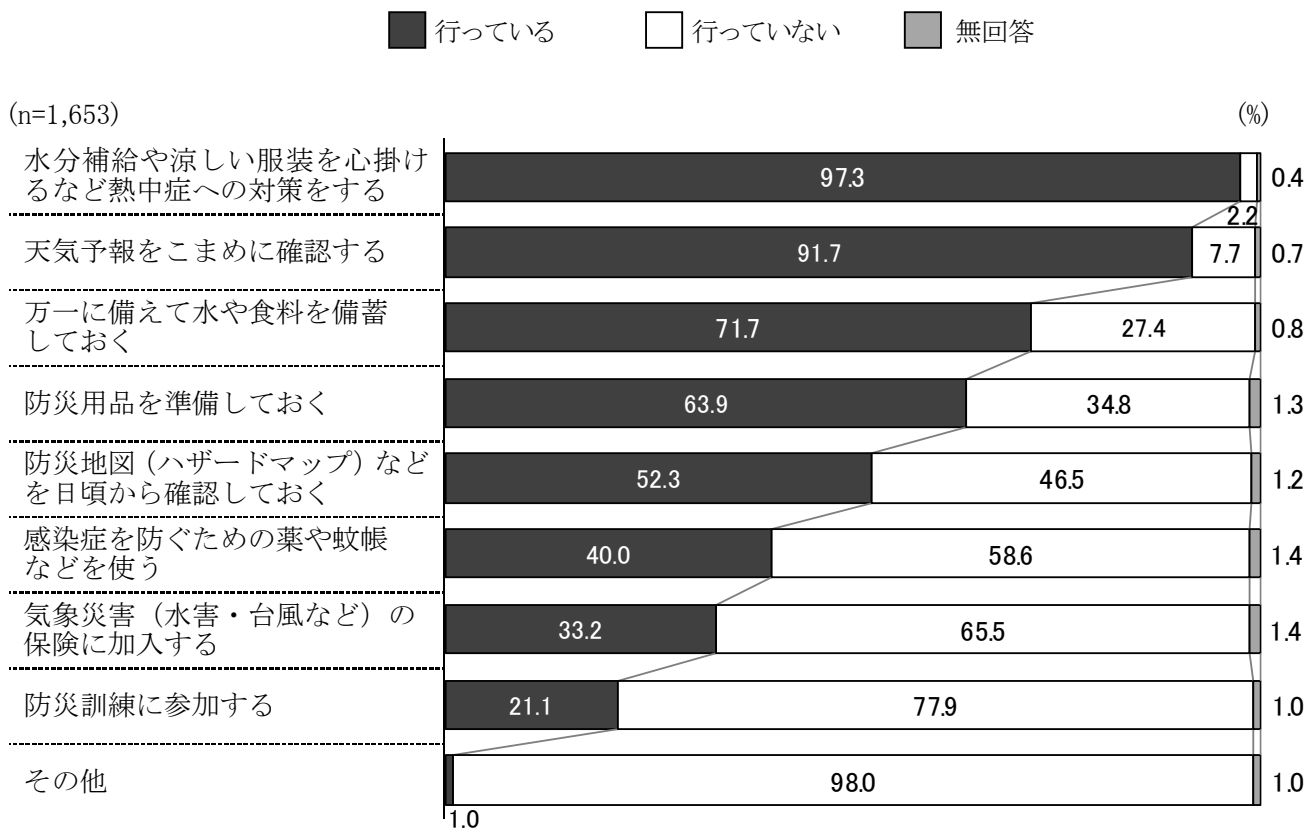


(6) 行っている「適応策」

問 16. 個人でできる適応策として、あなたは次の項目について行っていますか。それぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。

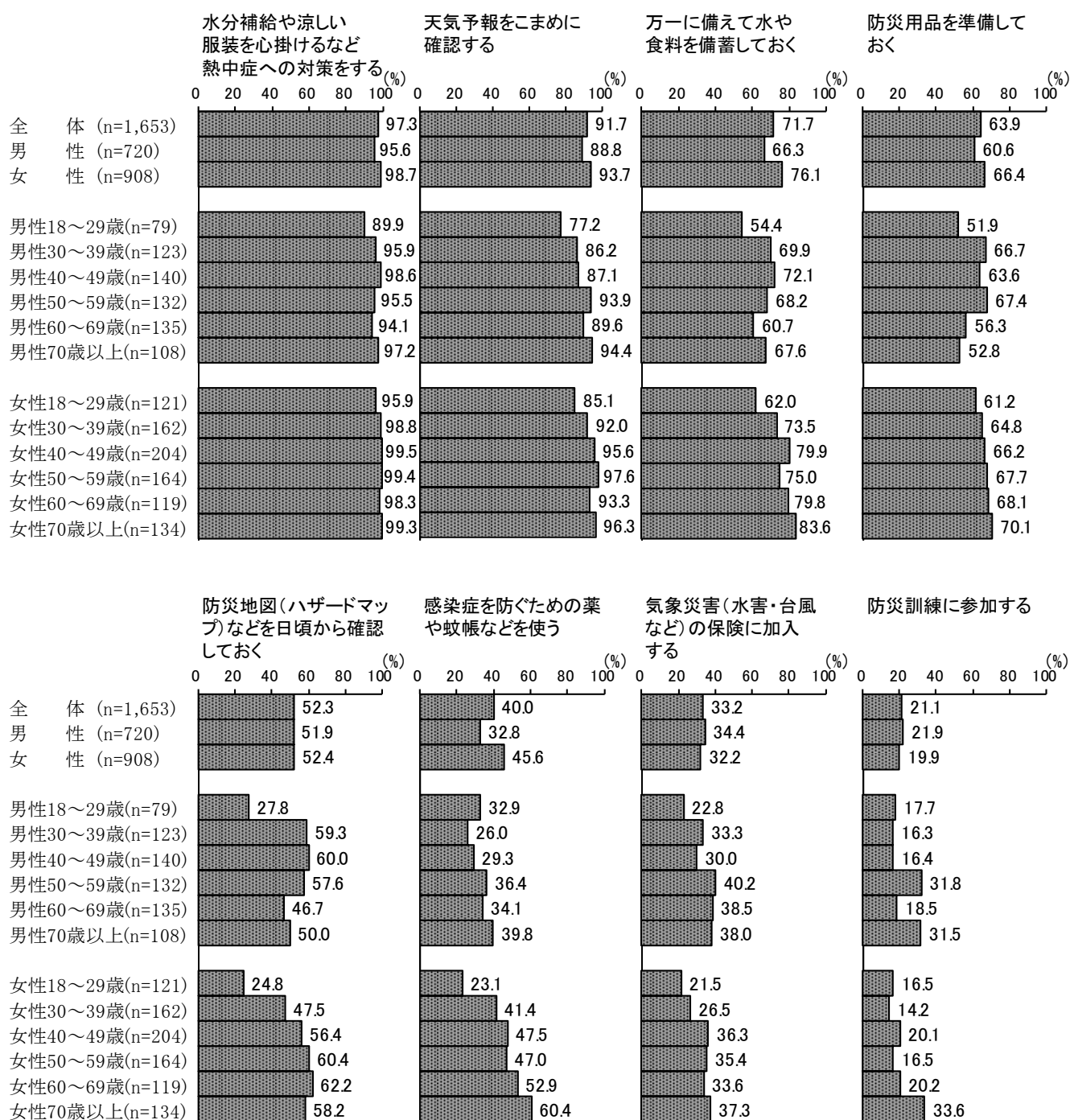
「行っている」は「水分補給や涼しい服装を心掛けるなど熱中症への対策をする」(97.3%)が最も多く、次いで「天気予報をこまめに確認する」(91.7%)、「万一に備えて水や食料を備蓄しておく」(71.7%)と続いている。一方で、「感染症を防ぐための薬や蚊帳などを使う」、「気象災害(水害・台風など)の保険に加入する」、「防災訓練に参加する」の3項目では、「行っていない」が5割を上回っている。

【図表 118】 行っている「適応策」



性／年齢別に見ると、「水分補給や涼しい服装を心掛けるなど熱中症への対策をする」と「天気予報をこまめに確認する」の2項目については、年齢にかかわらずおよそ8割から9割台の人が「行っている」と回答しているが、そのほかの項目については、女性は概ね年齢が高くなるほど「行っている」が多くなる傾向が見られる。

【図表 119】行っている「適応策」(「行っている」回答者) <<上位8項目>>
(性／年齢別)



問16の9項目のうち、「その他」を除いた8項目において「行っている」と回答した項目の数を『適応策ポイント』として算出した。

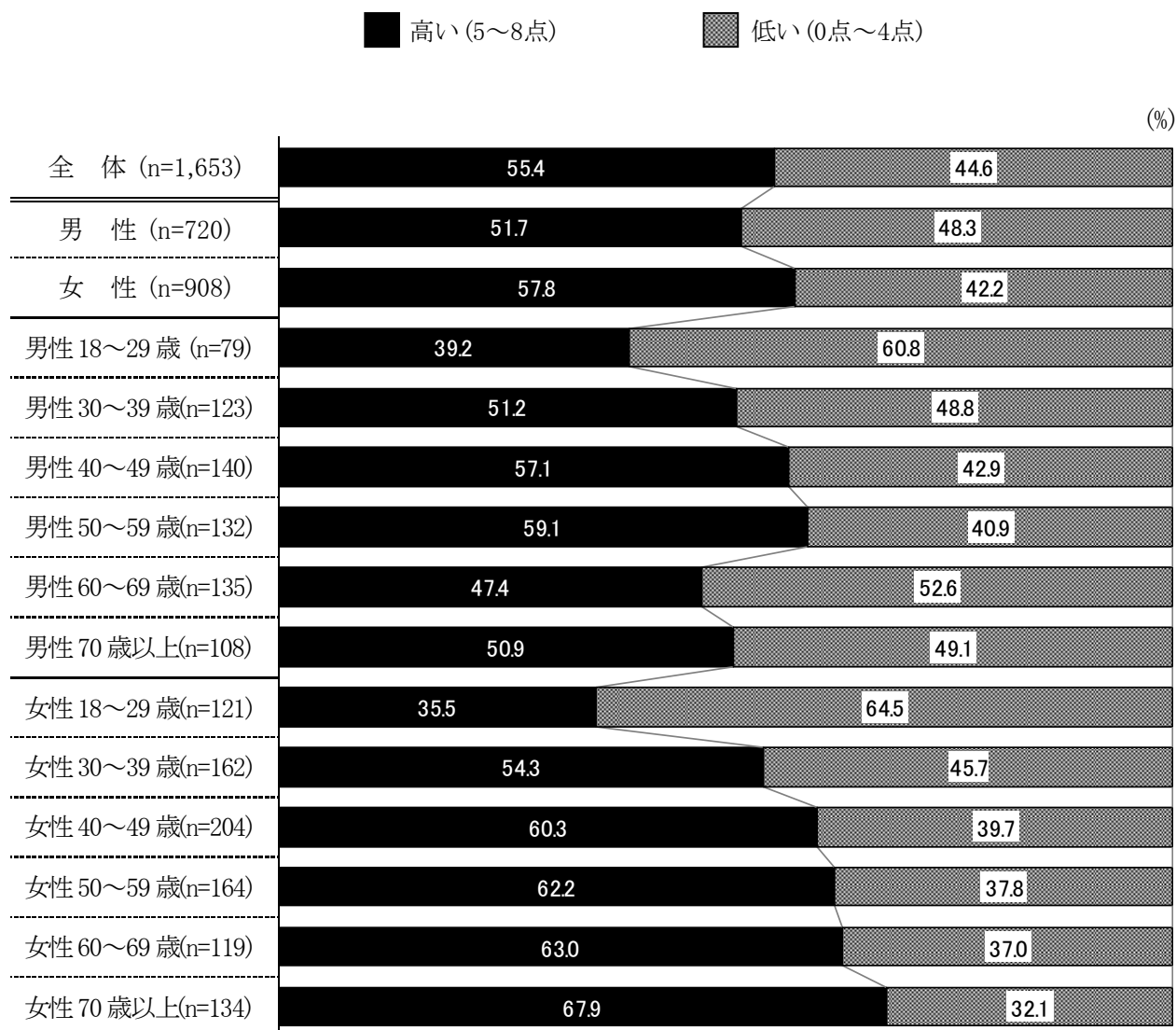
【図表 120】適応策ポイント（性／年齢別）

（%）

	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	平均 (点)
全体(n=1,653)	5.2	10.9	17.9	21.4	20.5	12.6	8.4	2.1	1.0	4.71
男性(n=720)	4.0	10.7	16.9	20.0	19.3	14.7	9.6	2.9	1.8	4.52
女性(n=908)	6.1	11.0	18.6	22.1	21.8	11.2	7.4	1.4	0.3	4.85
男性18～29歳(n=79)	1.3	5.1	16.5	16.5	12.7	19.0	17.7	5.1	6.3	3.75
男性30～39歳(n=123)	3.3	13.0	19.5	15.4	17.9	16.3	8.1	5.7	0.8	4.54
男性40～49歳(n=140)	1.4	12.1	17.1	26.4	15.7	14.3	7.9	4.3	0.7	4.57
男性50～59歳(n=132)	7.6	8.3	18.2	25.0	22.0	12.9	5.3	0.8	0.0	4.91
男性60～69歳(n=135)	5.9	10.4	15.6	15.6	19.3	13.3	14.1	2.2	3.7	4.39
男性70歳以上(n=108)	3.7	13.9	13.9	19.4	26.9	13.9	7.4	0.0	0.9	4.71
女性18～29歳(n=121)	3.3	2.5	7.4	22.3	24.8	18.2	14.9	6.6	0.0	3.90
女性30～39歳(n=162)	3.1	8.0	19.1	24.1	23.5	8.0	11.7	1.2	1.2	4.59
女性40～49歳(n=204)	7.8	11.8	18.1	22.5	20.6	14.7	3.9	0.5	0.0	5.01
女性50～59歳(n=164)	3.0	14.6	22.0	22.6	19.5	13.4	4.3	0.6	0.0	4.99
女性60～69歳(n=119)	7.6	13.4	20.2	21.8	22.7	6.7	5.9	0.8	0.8	5.08
女性70歳以上(n=134)	11.2	14.9	23.9	17.9	21.6	4.5	6.0	0.0	0.0	5.39

適応策ポイントの全体の平均4.71点より高い5～8点と低い0～4点の2層に分け、性／年齢別に見ると、【高い】は男女ともに18～29歳が最も少なくなっている。また、男性では50～59歳が最も多いが、女性では年齢が高くなるほど多くなり、70歳以上では67.9%と最も多い。

【図表 121】 適応策ポイント [高得点・低得点] (性／年齢別)



(7) 川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え

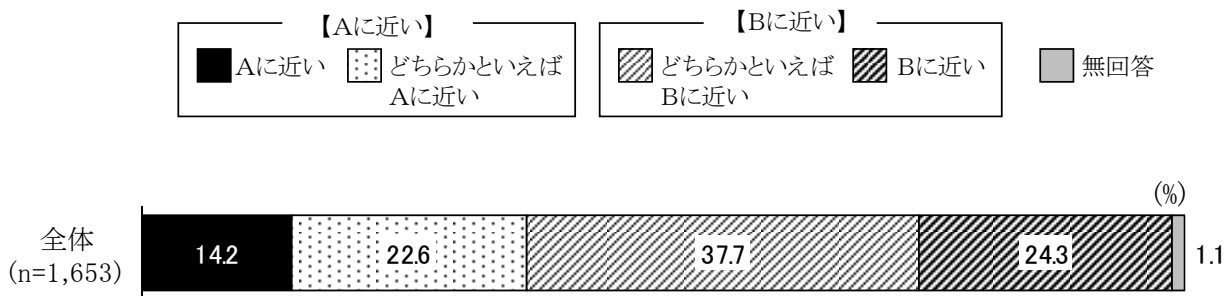
問 17. 川崎市が取り組む地球温暖化対策について、AとBの考え方ではどちらの方があなたのお考えに近いと思われますか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。

A: 経済的な負担(税金、電気料金、ガス料金など)が多少大きくなっても対策を講じていくべき

B: 経済的な負担が変わらない範囲で対策を講じるべき

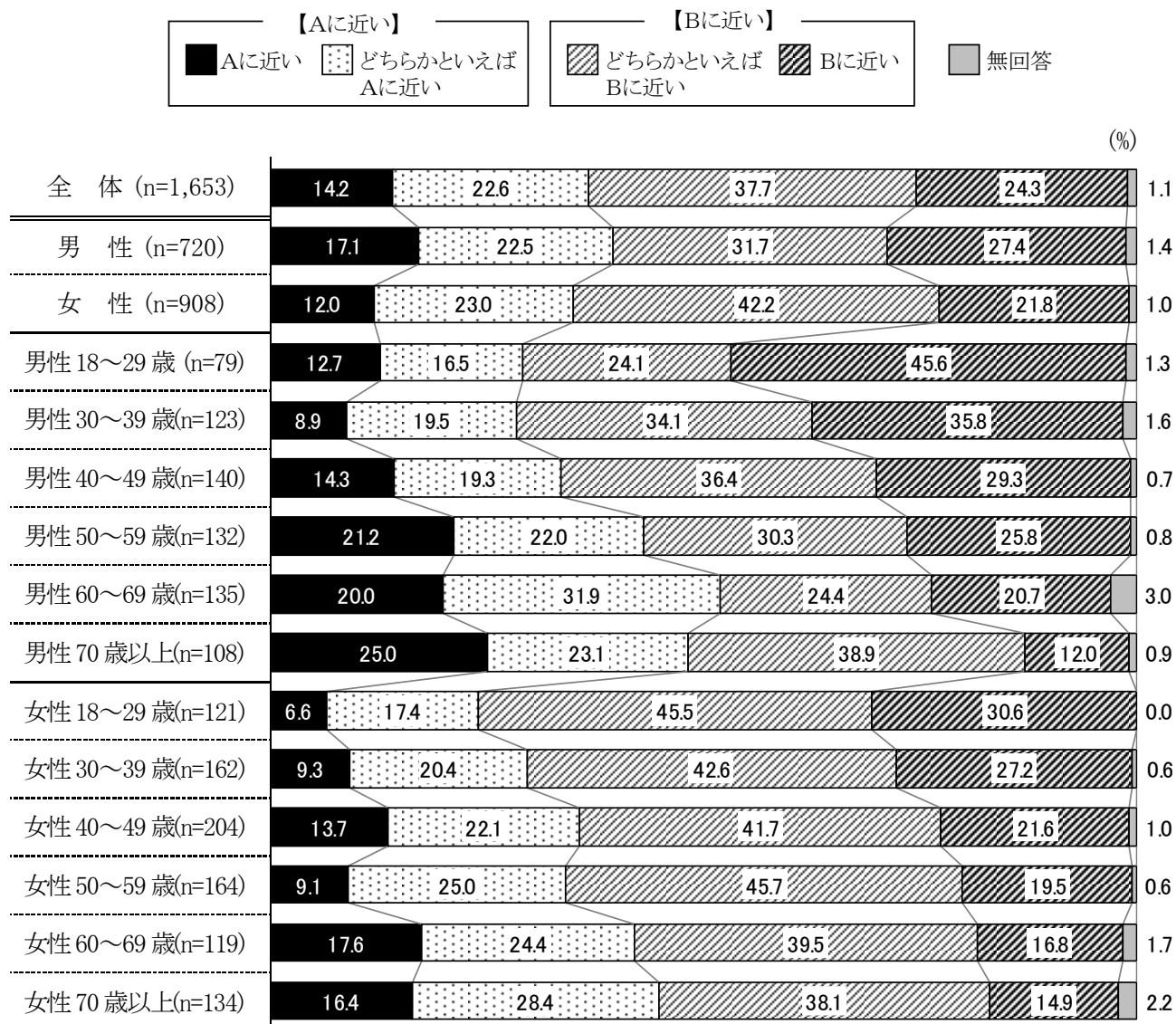
「Aに近い」(14.2%)と「どちらかといえばAに近い」(22.6%)を合計した【Aに近い】が36.8%、「どちらかといえばBに近い」(37.7%)と「Bに近い」(24.3%)を合計した【Bに近い】が62.1%と、【Bに近い】と回答した人の方が多かった。

【図表 122】川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え



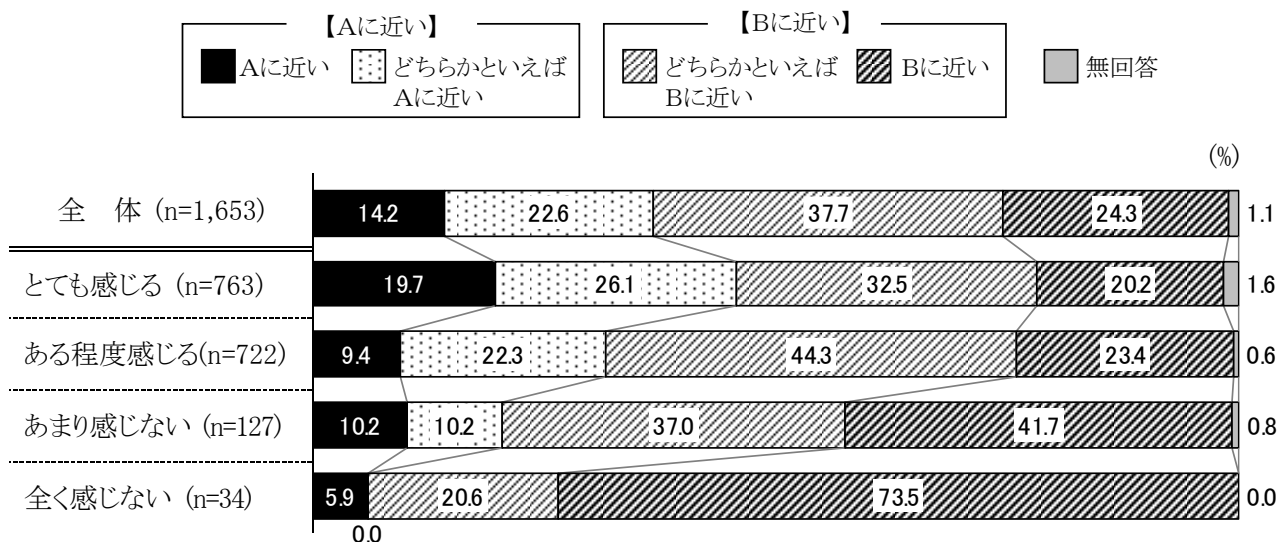
性／年齢別に見ると、「どちらかといえばBに近い」と「Bに近い」を合計した【Bに近い】は女性の方が多くなっている（男性：59.0%、女性64.0%）。また、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合計した【Aに近い】は概ね年齢が高くなるほど多い。

【図表 123】川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え（性／年齢別）



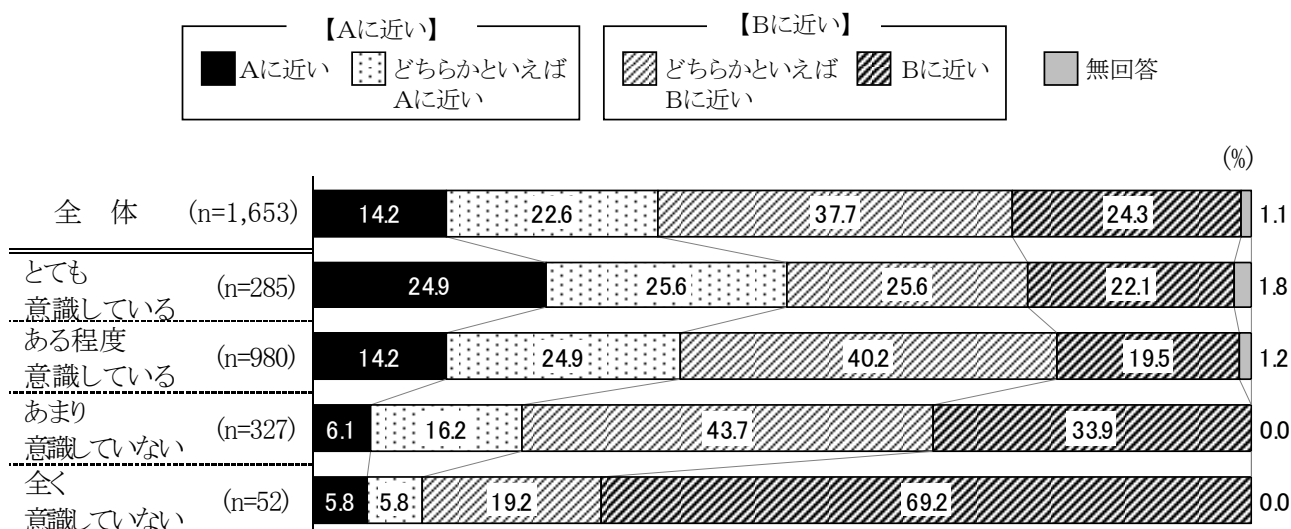
問11の「地球温暖化の進行に対する危機感」の回答別に見ると、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合計した【Aに近い】(経済的な負担が多少大きくなってでも対策を講じるべきと考えている人)は危機感を感じている人ほど多くなっている。

【図表 124】川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え
(「地球温暖化の進行に対する危機感」回答別)



問12の「地球温暖化対策を意識している程度」の回答別に見ると、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合計した【Aに近い】(経済的な負担が多少大きくなってでも対策を講じるべきと考えている人)は地球温暖化対策を意識している人ほど多くなっている。

【図表 125】川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え
(「地球温暖化対策を意識している程度」回答別)

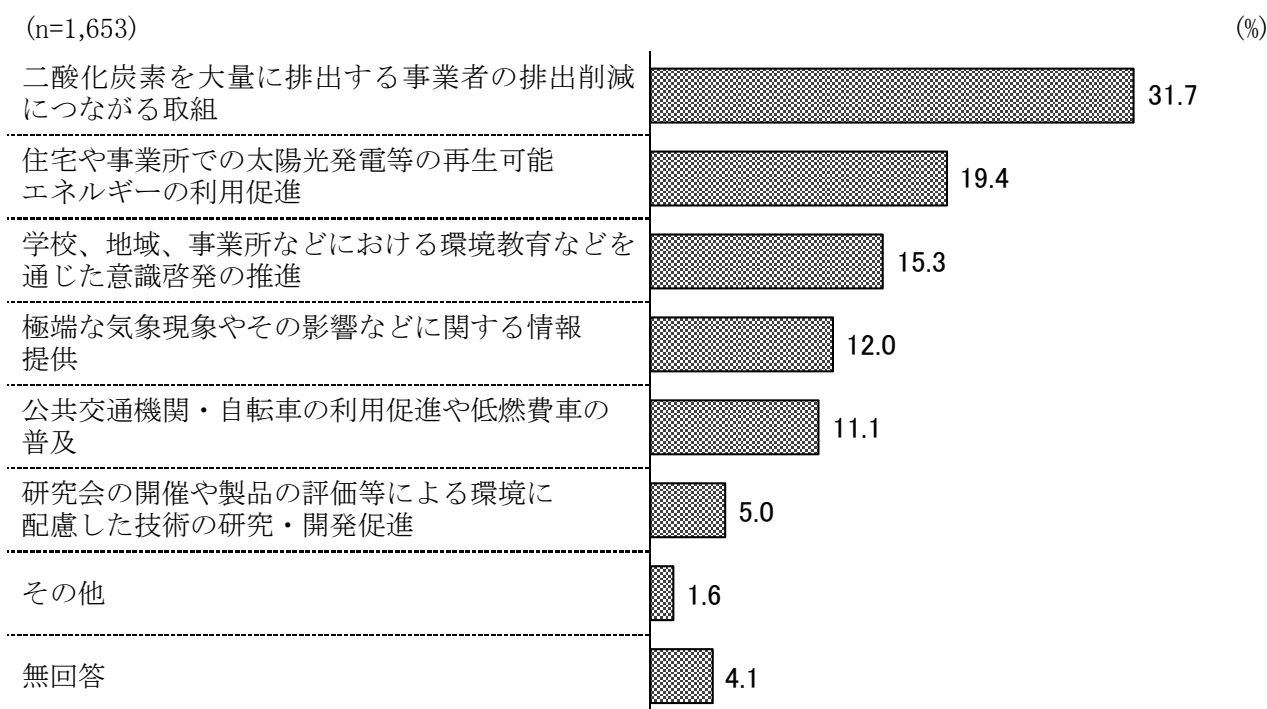


(8) 川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策

問 18. 今後、あなたが川崎市に一番取り組んでほしい地球温暖化対策は何ですか。

「二酸化炭素を大量に排出する事業者の排出削減につながる取組」(31.7%)が最も多く、次いで「住宅や事業所での太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用促進」(19.4%)、「学校、地域、事業所などにおける環境教育などを通じた意識啓発の推進」(15.3%)と続いている。

【図表 126】川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策



性／年齢別に見ると、「二酸化炭素を大量に排出する事業者の排出削減につながる取組」は概ね男性より女性の方が多。また、「住宅や事業所での太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用促進」は概ね女性より男性の方が多。

【図表 127】川崎市に取り組みしてほしい地球温暖化対策（性／年齢別）

